



縄文炎祭での野焼きの様子

この工房でどのぐらいの数の縄文の女神が生まれましかと金さんに尋ねてみると「数え切れませんね(笑)。すべて舟形の土を使って『野焼き』で仕上げますが、等身大の縄文の女神は特に思入れがあります。県立博物館から出土地を求めてここを訪れる方も多く、そういった方々に同じ熱量で話せる人が舟形に必要かなと思います。例えば、歴史民俗資料館の半田清一郎さんや洲崎の澤内義明さんのような方々。責任というか、縄文の女神はやはり舟形の土で舟形の人の手で生み出したんです。女神にみちびかれたんでしょか。目も口もなくても何とも言えない、造形美だけ誰かが何かを伝えなければならぬと感じています」と話してくれました。

### 舟形の土で 舟形の人の手で



### 女神のお守り

小さなちいさな縄文の女神です。  
なにかよいことがあるかも



### 西ノ前土器の陶器

この器に「いも煮」をよそった縄文定食を提案しているんです、とのこと。

### 縄文時代の 良さを継ぐ

今後の活動について金さんは「地域の方で縄文サークルをはじめたいです。山で採った山菜を土器で煮炊きしたり、縄文時代の豊かな自然や文化を残す舟形町をみんなで継いでいきたいです。そんな舟形町が好きです」とのこと。  
今年の8月4日、「縄文女神の日」条例制定10周年を迎える舟形町。あなたのご自宅には「縄文の女神」はいらっしゃいますか。この機会にいかがでしょうか。

### 触れる縄文の女神陶製レプリカ

舟形町歴史民俗資料館  
[最上郡舟形町舟形2679-22 ☎(32)3495]

舟形町歴史民俗資料館には触れる縄文の女神陶製レプリカを展示しています。大きさと重さは実物とはほぼ同じ。触れることはもちろん、持ち上げたり、床面のミラー越しに足の裏面を観察したりすることもでき、五感を通して国宝「縄文の女神」を楽しむことができます。



- ▼休館日/毎週火曜日(祝日の場合は翌日)
- ▼利用時間/午前10時~午後4時
- ▼その他/入館料あり  
案内人の半田清一郎さんのガイド付き



### 舟形焼 わかあゆ 薫風窯

舟形若あゆ温泉 あゆっこ村内  
[最上郡舟形町長沢8067 ☎(32)0660]

縄文の女神の制作や手びねり、ろくろ、紙漉き、絵付け体験などができます。また、地区公民館などでの出張教室も開催できます。

- ▼定休日/月曜・第3日曜日(4~11月)  
日曜・第3月曜日(12~3月)
- ▼開館時間/午前10時~午後5時



ふながたの「お宝」。舟形町のもの、人、場所などをシリーズで紹介します。第1弾は「縄文の女神」です。

発掘!  
ふながたのお宝

女神に  
魅せられて

### 舟形町の、 山形県の宝

平成4年6月、尾花沢新庄道路の建設ルートにかかるJR舟形駅の西側300mの小国川左岸で縄文時代中期とみられる集落跡が発見され、その発掘調査が行われました。平成4年8月4日から8月6日にかけて、調査区内から左足、腰、頭、胴、右足など5つに割れた土偶のパーツが相次ぎ出土しました。復元を進めた結果、45cmと日本最大の土偶だと判明しました。「縄文の女神」と名付けられたこの土偶は、「縄文時代の土偶造形のひとつの到達点を示す優品として代表的な資料であり、学術的価値が極めて高い」という理由から、発掘から20年が経過した平成24年9月6日、国宝に指定されました。まさに名実ともに舟形町・山形県の宝であり、国の宝となりました。それから10年。縄文の女神が放つ魅力は私たちをひきつけてやみません。

### 縄文の女神と 金寛美さんの10年間

そんな縄文の魅力にひきつけられた一人が金(沼澤)寛美さん(一の関)です。平成22年に舟形町に舟形焼「わかあゆ薫風窯」を築窯して以来、舟形若あゆ温泉やコテージを利用される方などへの観光体験メニューとして紙漉きとともに陶芸教室を始めました。「最初は『埴輪と違うの? あ、土偶か』という感じでその区別もつきませんでした。でも、勉強していくほどに縄文の女神とその背景にある縄文時代にひきつけられました。この10年間は、野焼きから始まり、縄文炎祭の開催、映画

### 土偶ができるまで

- その① 原土を砕き、ごみをとって水を加え粘土をつくる
- その② 造形して制作
- その③ 野焼き



※同事業の概要はコチラ

『縄文にハマる人々』の上映、土偶女子の代表である譽田亜紀子さんを招いての講演などを行いました。また「LEXUS NEW TAKUMI PROJECT 2016」の山形代表として『縄文七輪』を発表したのも良い経験でした。



薫風窯で金寛美さんと